

政教分離、米国が初めて採用 法・高畑英一郎教授

清教徒、北部に入植

(清教徒)ら宗教的迫害を逃れた移民が、英国から渡ったピューリタンをキリスト教に根差した国、と一般的に理解され

日本は戦後、日本国憲法第20条で政教分離を定めた。国による神道の保護を改め、全ての宗教を等しく扱う大きな転換だった。同条制定に影響を与えたのが米国の「政教分離原則」と高畑教授は述べる。「日本の裁判所が政教分離問題に、積極的に関わるようになったのは、1970年代後半からです。最高裁の判断基準に影響を与えたのも米国の政教分離裁判とされます」。では、米国内原則がどのように形成されたか。



研究室で書籍を探し高畑教授

る。「その米国は政教分離を初めて採用した国家でもありません」

英国はイギリス国教会を国家の宗教とする。ヘンリー8世は国教会を樹立して、ローマ法王の支配から脱した。聖書や典礼もカトリックとは異なる。とはいえ、国教会の教義は、純粋なプロテスタントイズムとは相入らない。

その英国教会から迫害を受けた会衆派などのピューリタンは、北米大陸東部13植民地のうち、主に北部の植民地に入植した。

た。初期の植民地では、政府が特定会派、あるいはプロテスタント全体を優遇する「公定宗教制」がとられました。プロテスタント信仰が共同体の一員となる条件でした」

13の植民地は18世紀後半に英国から独立。合衆国は連邦憲法修正第1条で「政教分離」を掲げた。これは連邦政府だけに適用され、宗教行政は州政府に任せられたが、各州でも徐々に公定宗教制を見直す動きが広がる。1833年のマサチューセッツ州を最後に特定会派への優遇は廃止された。

「しかし、州の公務員採用では信仰について尋ねる宗教審査が容認されました。裁判で陪審員、

証人になる際の宣誓でもプロテスタントであることが強く求められま

とする学説もあります」

米国の工業化による労働力不足、母国の飢饉などを背景に、1840年代にローマカトリックが支配的な南欧諸国やアイルランドなどから移民が大量に流入した。入植者は自らの教会を建て、母国から神父を呼び寄せを招きました。欽定聖書を読むことが信仰行為とみなされたから

その一方で、移民の子どもや2世に対しては、学校教育を通じてプロテスタントへの同化政策がとられた。「公立学校では、プロテスタント聖書

の読み聞かせがなされたから

「宗教上の同化政策はなくなりませんが、国家への同化政策は今日も続けられています。学校では毎朝、子どもたちが国旗に向かって『忠誠宣誓』を行います。多様な民族を統合するために、合衆国への帰属意識が重視されます」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

プロテスタント国教制だった19世紀の米国公教育の場で同化政策 いまでも続く「忠誠宣誓」

証人になる際の宣誓でもプロテスタントであることが強く求められまし

とする学説もあります」

米国の工業化による労働力不足、母国の飢饉などを背景に、1840年代にローマカトリックが支配的な南欧諸国やアイルランドなどから移民が大量に流入した。入植者は自らの教会を建て、母国から神父を呼び寄せを招きました。欽定聖書を読むことが信仰行為とみなされたから

その一方で、移民の子どもや2世に対しては、学校教育を通じてプロテスタントへの同化政策がとられた。「公立学校では、プロテスタント聖書

の読み聞かせがなされたから

「宗教上の同化政策はなくなりませんが、国家への同化政策は今日も続けられています。学校では毎朝、子どもたちが国旗に向かって『忠誠宣誓』を行います。多様な民族を統合するために、合衆国への帰属意識が重視されます」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

特定の顧客を抱える フィールドワークを重要視

フィールドワークを重要視

気のある中堅スーパーマーケットの場合、農産物や海産物が典型的だが、手当てする商品の量が大きくなればなるほど、仕入れの値段が高くなるというパターンがある。同じ大きさで形もそ

る。19世紀後半までは事実上、プロテスタントを国教として処遇していた

手を取るようにわかるまで把握できれば、顧客にとってその店は最もきめ細かい自身の希望に沿った対応をしてくれる。抱える顧客が少なければ少ないほど利点になるという観点からの有利さだ。あるいは狭い地域で人

商業では、そんな想定で見えなかったものが次々と出てきた。

データの解析・分析

大型店の出店攻勢は世界的な趨勢だが、「大型店には有利な面もあれば不利な面もある。だから

経済活動を行う主体なので、利益や効率を最も重要なものとして行動する

と想定して理論化してき

たが、意外にそうでもない。自分の店は放り出して街のために頑張る者もいれば、自分の店が頑張ることで結果的に街のためになる

者もいる。例えは過去も千差万別。中小規模の

たが、意外にそうでもない。自分の店は放り出して街のために頑張る者もいれば、自分の店が頑張ることで結果的に街のためになる

者もいる。例えは過去も千差万別。中小規模の

たが、意外にそうでもない。自分の店は放り出して街のために頑張る者もいれば、自分の店が頑張ることで結果的に街のためになる

者もいる。例えは過去も千差万別。中小規模の

たが、意外にそうでもない。自分の店は放り出して街のために頑張る者もいれば、自分の店が頑張ることで結果的に街のためになる

者もいる。例えは過去も千差万別。中小規模の

たが、意外にそうでもない。自分の店は放り出して街のために頑張る者もいれば、自分の店が頑張ることで結果的に街のためになる

者もいる。例えは過去も千差万別。中小規模の

たが、意外にそうでもない。自分の店は放り出して街のために頑張る者もいれば、自分の店が頑張ることで結果的に街のためになる

和気あいあいとしたゼミ風景

和気あいあいとしたゼミ風景

ゼミ生を指導する際も、力を入れるのはフィールドワー

「公立学校教育での同化政策は1960年代に終焉(しゅうえん)を迎えます。具体的には、聖書の朗読と祈禱が廃止されました」

「宗教上の同化政策はなくなりませんが、国家への同化政策は今日も続けられています。学校では毎朝、子どもたちが国旗に向かって『忠誠宣誓』を行います。多様な民族を統合するために、合衆国への帰属意識が重視されます」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

「国家と宗教との関係で行われても、クリスチヤンの教師は会葬するでしょう。職場ぐるみで地域の祭に参加する。こうした公人として社会で求められる振る舞い、『社

習俗と儀礼」

「政教分離とは、全ての宗教的要素を排除することではない。たとえばクリスマスを祝い、西暦を用い、日曜日を休日とするのが重要だと思います」

高畑 英一郎(たか はた・えいちろう)教授

教授などを経て25年教授。25年3月から2年

間、米ラトガース大学

卒業、9年米ジョージア

州カレッジ校州憲法研究

所客員研究員。ア

ア大学ロースクール(Ph.D.)

修了、10年日本大学大

学院法学研究科博士後

比較憲法学会など所属

期課程満期退学。同年

著書は「憲法」ほか多

同大学法学部助手、助

数。東京都出身。48歳。

高畑 英一郎(たか はた・えいちろう)教授

教授などを経て25年教授

25年3月から2年間、米ラ

トガース大学卒業、9年米

ジョージア州カレッジ校

州憲法研究所客員研究員

。アア大学ロースクール

プロフィール

プロフィール

本マークテイニング学会、

組織学会、日本消費者行

動研究学会などに所属

する。大阪府出身。37

り、准教授へ。24年に

歳。

横山 斉理(よこや ま・なりまさ) 平成12

年同志社大学商学部通、

マークテイニング学会、

日本商業学会、日

本院経営学研究科博士後

期課程。博士(商学)。 織

学会、日本消費者行動

研究学会などに所属す

る。大阪府出身。37

り、准教授へ。24年に

歳。

横山 斉理(よこや ま・なりまさ) 平成12

年同志社大学商学部通、

横山 斉理(よこや ま・なりまさ)教授

教授などを経て25年教授

25年3月から2年間、米ラ

トガース大学卒業、9年米

ジョージア州カレッジ校

州憲法研究所客員研究員

。アア大学ロースクール

(Ph.D.)修了、10年日本大

学院法学研究科博士後

比較憲法学会など所属

期課程満期退学。同年

著書は「憲法」ほか多

同大学法学部助手、助

数。東京都出身。48歳。

高畑 英一郎(たか はた・えいちろう)教授

教授などを経て25年教授

25年3月から2年間、米ラ

トガース大学卒業、9年米

ジョージア州カレッジ校

州憲法研究所客員研究員

。アア大学ロースクール

横山 斉理(よこや ま・なりまさ)教授

教授などを経て25年教授

25年3月から2年間、米ラ

トガース大学卒業、9年米

ジョージア州カレッジ校

州憲法研究所客員研究員

。アア大学ロースクール

(Ph.D.)修了、10年日本大

学院法学研究科博士後

比較憲法学会など所属

期課程満期退学。同年

著書は「憲法」ほか多

同大学法学部助手、助

数。東京都出身。48歳。

高畑 英一郎(たか はた・えいちろう)教授

教授などを経て25年教授

25年3月から2年間、米ラ

トガース大学卒業、9年米

ジョージア州カレッジ校

州憲法研究所客員研究員

。アア大学ロースクール